

平成22年4月1日付
人事異動の概要

平成22年3月23日(火)
高知県総務部人事課

1 異動の規模等

(1) 異動規模(知事部局)

(単位:人)

異動内容	H22.4.1	H21.4.1	増減
異動総数	1,294	1,424	△ 130
うち実質異動	1,246	1,376	△ 130
1・2等級昇任	71	66	5
うち1等級	19	19	0
うち2等級	52	47	5
新規採用職員	110	71	39
うち事務	46	32	14
うち技術	64	39	25
再任用職員	11	9	2
うち事務	4	2	2
うち技術	1	4	△ 3
うち技能	6	3	3
退職者	173	156	17

(2) 昇任の状況(知事部局)

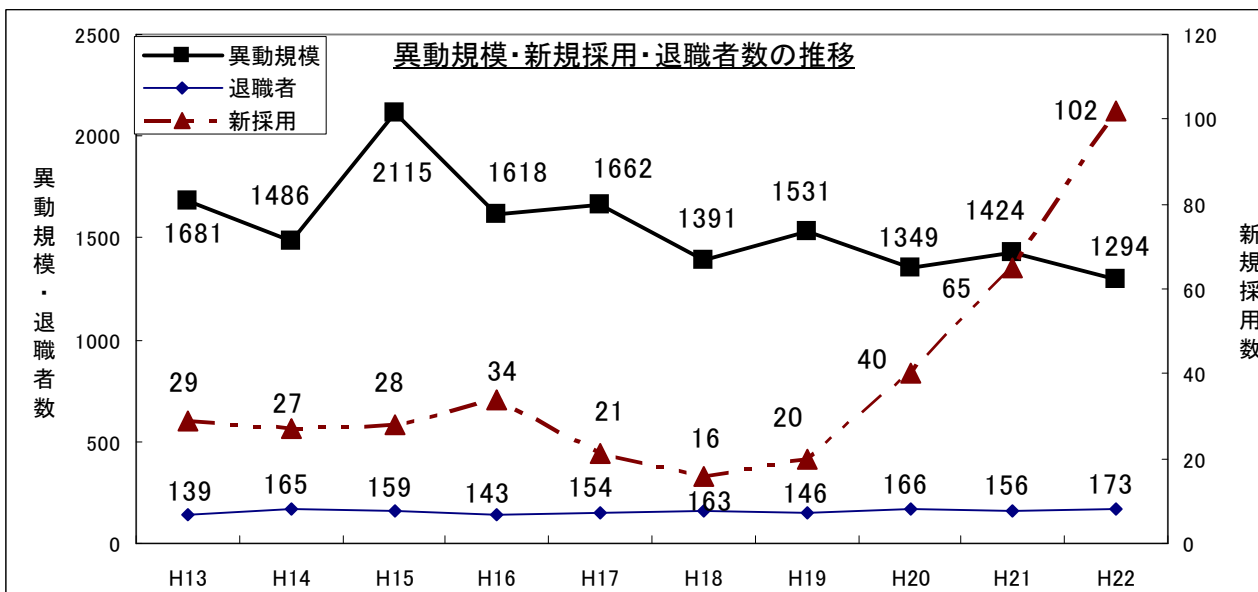
(単位人)

	事務	(うち女性)	技術	(うち女性)	計
1等級	11	1	8		19
2等級	28	2	24	2	52
3等級	22	3	12	2	34
4等級	21	5	22	5	43
計	82	11	66	9	148

<参考 21年度昇任の状況(知事部局)> (単位人)

	事務	(うち女性)	技術	(うち女性)	計
1等級	16	1	3		19
2等級	21		26	1	47
3等級	24	8	2		26
4等級	29	10	16	2	45
計	90	19	47	3	137

※ 新規採用には国からの割愛採用も含む。



※ 新規採用職員数には、割愛採用を含まない。

(3) 平成22年度庁議、政策調整会議メンバー 【別紙参照】

2 組織改正の内容

(1) 組織改正の基本的な考え方

産業振興計画の着実な実行などに取り組んだ「実行元年」を土台に、平成22年度は、「土佐・龍馬であい博(龍馬博)」などの追い風を生かしながら、更の一つ上のステップを目指す「挑戦の年」であり、これにふさわしい果敢に挑戦する体制づくりを行う。

別添「平成22年度の主な組織改正の概要」参照

(2) 知事部局の行政組織数の増減

	部局数	課数	出先機関数
H22.4.1	13	88	63
H21.4.1	13	89	64
増減	0	△ 1	△ 1

(3) ポスト数の増減(知事部局、派遣職員を除く)

		H21.4.1			H22.4.1			増減 H22 - H21		
		事務	技術	計	事務	技術	計	事務	技術	計
1等級	本庁(部長、副部長等)	37	9	46	37	11	48	0	2	2
	出先機関(所長等)	11	7	18	10	8	18	△ 1	1	0
	計	48	16	64	47	19	66	△ 1	3	2
2等級	本庁(課室長等)	61	32	93	66	28	94	5	△ 4	1
	出先機関(所長等)	32	59	91	31	58	89	△ 1	△ 1	△ 2
	計	93	91	184	97	86	183	4	△ 5	△ 1
3等級	本庁(課室長補佐等)	112	37	149	114	38	152	2	1	3
	出先機関(次長等)	30	53	83	29	49	78	△ 1	△ 4	△ 5
	計	142	90	232	143	87	230	1	△ 3	△ 2
3等級	本庁(チーフ等)	183	101	284	182	103	285	△ 1	2	1
	出先機関(課長、チーフ等)	132	297	429	129	303	432	△ 3	6	3
	計	315	398	713	311	406	717	△ 4	8	4
合計	本庁	393	179	572	399	180	579	6	1	7
	出先機関	205	416	621	199	418	617	△ 6	2	△ 4
	計	598	595	1,193	598	598	1,196	0	3	3

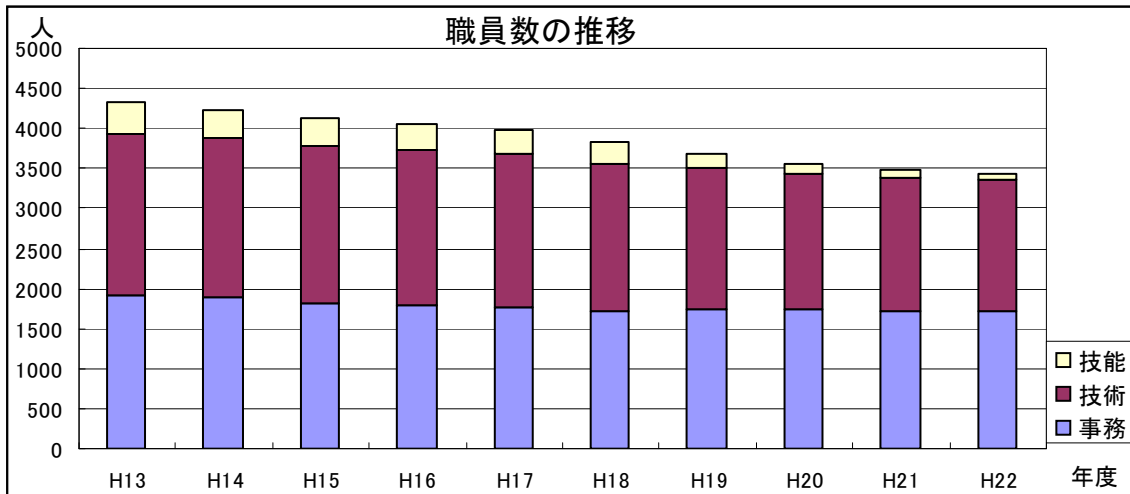
※ 派遣職員を含めると1等級は2減、2等級は1減のままとなっている。

(4) 職員数の推移

(単位:人、%)

	事務	技術	技能	計	対前年増減	増減率
H22	1,712	1,633	85	3,430	△ 57	△ 1.6
H21	1,723	1,656	108	3,487	△ 71	△ 2.0
H20	1,729	1,699	130	3,558	△ 134	△ 3.6
H19	1,753	1,752	187	3,692	△ 136	△ 3.6
H18	1,715	1,837	276	3,828	△ 144	△ 3.6
H17	1,765	1,906	301	3,972	△ 75	△ 1.9
H16	1,787	1,940	320	4,047	△ 70	△ 1.7
H15	1,818	1,965	334	4,117	△ 114	△ 2.7
H14	1,885	1,987	359	4,231	△ 91	△ 2.1
H13	1,914	2,015	393	4,322	△ 76	△ 1.7

※ H22の職員数は速報値であり、今後変更となる場合があります。



3 人員配置等

(1) 5つの基本政策に関する人員配置

① 経済の活性化

- ・ 高知県産業振興センターと県との連携をより強化し、産業振興計画を積極的に推進していくため、**若手の幹部職員を登用し**理事長、専務理事に派遣
- ・ 高知市地域における産業振興計画の推進体制を、更に充実させるため、「**地域産業振興監（高知市地域担当）**」を専任化し配置
- ・ 生鮮、加工及び輸出の3つの観点から、追加的に特定の品目（1次産品）の外商加速化戦略づくりと実証等を行うため、担当の課長補佐などを配置し体制を強化（地産地消・外商課）
- ・ 畜産物の品種改良をはじめとする試験研究から生産、流通・販売にいたる一元的な施策を構築し実行するため1等級の**畜産振興監**を新設
- ・ **水産振興部の副部長を2人体制**とするとともに、県産水産物の加工及び流通・消費拡大対策に対応するため、それぞれ担当チーフを配置するなど体制を強化（水産振興部）
- ・ 地域で中核となり、産業を支えることができる人材の育成・確保に向けた研修や指導体制を充実するため、担当チーフなどを配置し体制を強化（計画推進課）
- ・ 「まんが王国・土佐」のブランド化への取組などまんが文化の推進やコンテンツビジネスの創出のため、「**まんが・コンテンツ課**」を設置（文化生活部）
- ・ 「龍馬博」後の新たな県観光のPR・イメージ戦略への対応等のため、また、地域アクションプランの推進や広域観光の組織づくりなど、県中央ブロックの観光を支援するため、それぞれ新たに担当チーフを配置し体制を強化（観光政策課）

② インフラの充実と有効活用

- ・ これまでの体制を基本として対応

③ 教育の充実と子育て支援

- ・ 教育委員会が所管する子育て支援対応の事業の移管を受け、各種制度の隙間を埋める地域での子育て支援サービスに関する事業を一元的に所管し、少子化対策を推進するとともに、体制を強化（少子対策課）
- ・ 高知女子大学の本部機能が永国寺キャンパスから池キャンパスに移転するとともに、看護学部など3学部の入学者数や教員数が増加することに伴い、事務局の体制を強化

- ④ 県民の安全・安心の確保に向けた地域の防犯、防災の基盤づくり
 - ・ これまでの体制を基本として対応

- ⑤ 日本一の健康長寿県づくり
 - ・ 健康づくり課から生活習慣病対策や歯科保健業務などの健康づくり関係業務を移管し、「健康長寿政策課」において地域保健関係業務を一体的に推進するとともに、日本一の健康長寿県づくりへの取組を推進するため、健康長寿県づくり担当のチーフを配置するなど同課の体制を強化
 - ・ 医師確保をより積極的に進めるため1等級の**医師確保推進監**を新設
 - ・ 医師確保業務を一層効率的に進めるため一般社団法人高知医療再生機構が設立されることに伴い、医師確保対策の推進と地域医療再生のため、同機構に職員を派遣（医師確保推進課）
 - ・ 平成 25 年開催の全国健康福祉祭（「ねんりんピック」）への対応のため、地域ケア体制整備推進チームに担当チーフ等を配置するとともに、介護人材の確保対策等への対応のため、体制を充実（高齢者福祉課）
 - ・ 高知医療センターの精神科病棟整備と、基金事業の活用による障害者福祉施設の耐震化等への対応のため、担当の企画監を配置するなど体制を強化（障害保健福祉課）

(2) その他の人員配置(知事部局)

- ・ 抜本的な経営改革を実行するため、高知県森林整備公社に**理事長を派遣**
- ・ 広報広聴課を、広報広聴業務を所管する「**広報広聴課**」と文書管理や情報公開等を所管する「**文書情報課**」に再編。これにより、迅速かつ機動的な政策広報や広聴活動のための体制を整備するとともに、情報公開の推進や歴史的公文書の整備に機動的に取り組む。
- ・ 税外債権のうち一定基準以上のものに係る直接回収や、所管部局に対する回収の支援・指導を行うことで、税外未収金の徴収対策を強化するため、チーフ級の職員を配置するとともに、租税債権を含めた徴収対策を強化するため担当の企画監を配置するなど体制を強化（税務課）

(3) 人員配置に当たっての留意点

- ① 柔軟な職員配置と登用
職員の能力や成果、姿勢や意欲などを考慮し、組織としての力を高めていくことを目指して、適材適所の配置、また、経験年数や職種にとらわれない配置に努めた

- ② 本庁・出先の人事交流の促進
人材の育成や組織の活性化、組織力の均衡を図るため、本庁、出先間の人材の交流に努めた

- ③ 女性職員の積極的な登用、配置
女性の視点や感性を大切にし、職員の能力や実績に応じて積極的な登用、配置に努めた

- ④ 人材の育成、活用の観点からの配置
 - ア 分野別の職の専門性や職員の育成を意図した配置
 - イ 国、他県、市町村交流、民間企業への派遣研修
 - ウ 公募制度による職員の配置(ジョブチャレンジ)

平成22年度の主な組織改正の概要

基本的な考え方

- 「実行元年」を土台に、更に1つ上のステップを目指す「挑戦の年」にふさわしい、果敢に挑戦する体制づくり
- 全庁的に徹底した業務の見直しと産業振興計画の加速化をはじめとする県政課題に、迅速かつきめ細かくに対応できるよう、人員配置の見直しと重点化
- 知事部局3,400人体制を目標とする現行の高知県行政改革プランに沿って、職員数の適正化を着実に実行

5つの基本政策への対応

【経済の活性化(産業振興計画の推進)】

- 生鮮、加工及び輸出の3つの観点から、追加的に特定の品目(1次産品)の外商戦略づくりと実証等を行うため、「地産地消・外商課」の体制を強化
- 地域で中核となり、産業を支えることができる人材の育成・確保に向けた体制を充実するため、「計画推進課」の体制を強化
- 高知市地域担当の「地域産業振興監」を専任化
- 首都圏や関西・中部地区も含め、一体的な外商戦略を展開するため、「大阪事務所」と「名古屋事務所」を商工労働部から産業振興推進部に移管
- 「龍馬博」後の新たな県観光のPR・イメージ戦略への対応と地域ごとのよりきめ細かな観光支援のため、「観光政策課」の体制を強化するとともに、観光コンベンション協会との連携を強化
- 「まんが王国・土佐」のブランド化やコンテンツビジネスの創出のため、「まんが・コンテンツ課」を設置
- 文化生活部長及び公営企業局長を新たに産業振興推進本部の構成員とする。

【教育の充実と子育て支援】

- 教育委員会から子育て支援対応の事業を移管し、「少子対策課」において子育て支援サービスの事業を一元化して所管するとともに同課の体制を強化
- 県立大学の公立大学法人化や私学支援業務への対応のため、「私学・大学支援課」の体制を強化
- 高知女子大学の本部機能を永国寺キャンパスから池キャンパスに移転するとともに、看護学部など3学部の入学者数や教員数の増加に伴い、大学事務局の体制を強化

【日本一の健康長寿県づくり】

- 「健康長寿政策課」に、健康づくり課から生活習慣病対策や歯科保健業務などの健康づくり関係業務を移管し、地域保健関係業務を一体的に推進するとともに、日本一の健康長寿県づくりへの取組を推進するための体制を強化
- 医師確保業務を一層効率的に進めるため一般社団法人高知医療再生機構が設立されることに伴い、医師確保対策と地域医療再生のため、同機構に職員を派遣し、支援

その他の改正

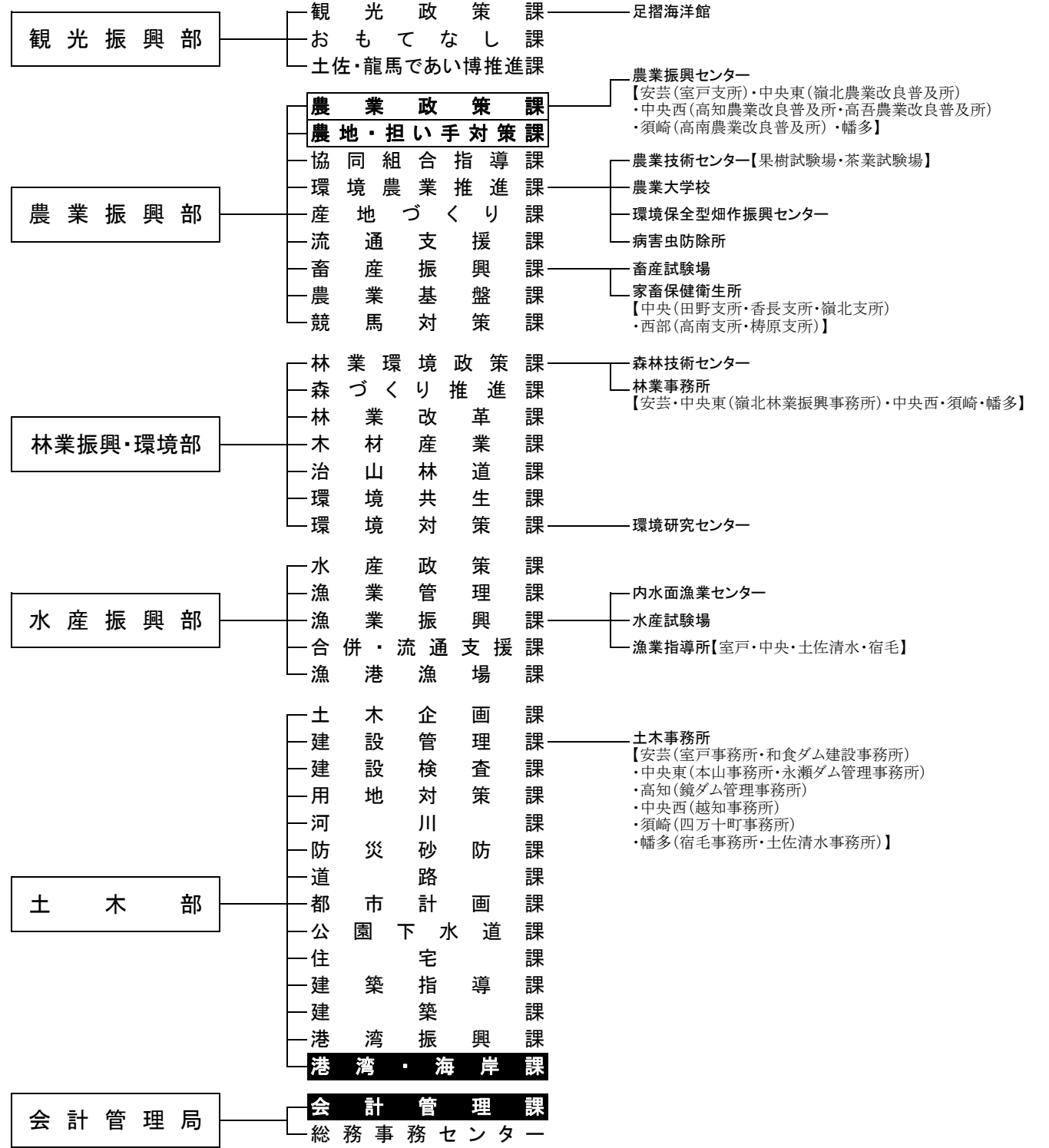
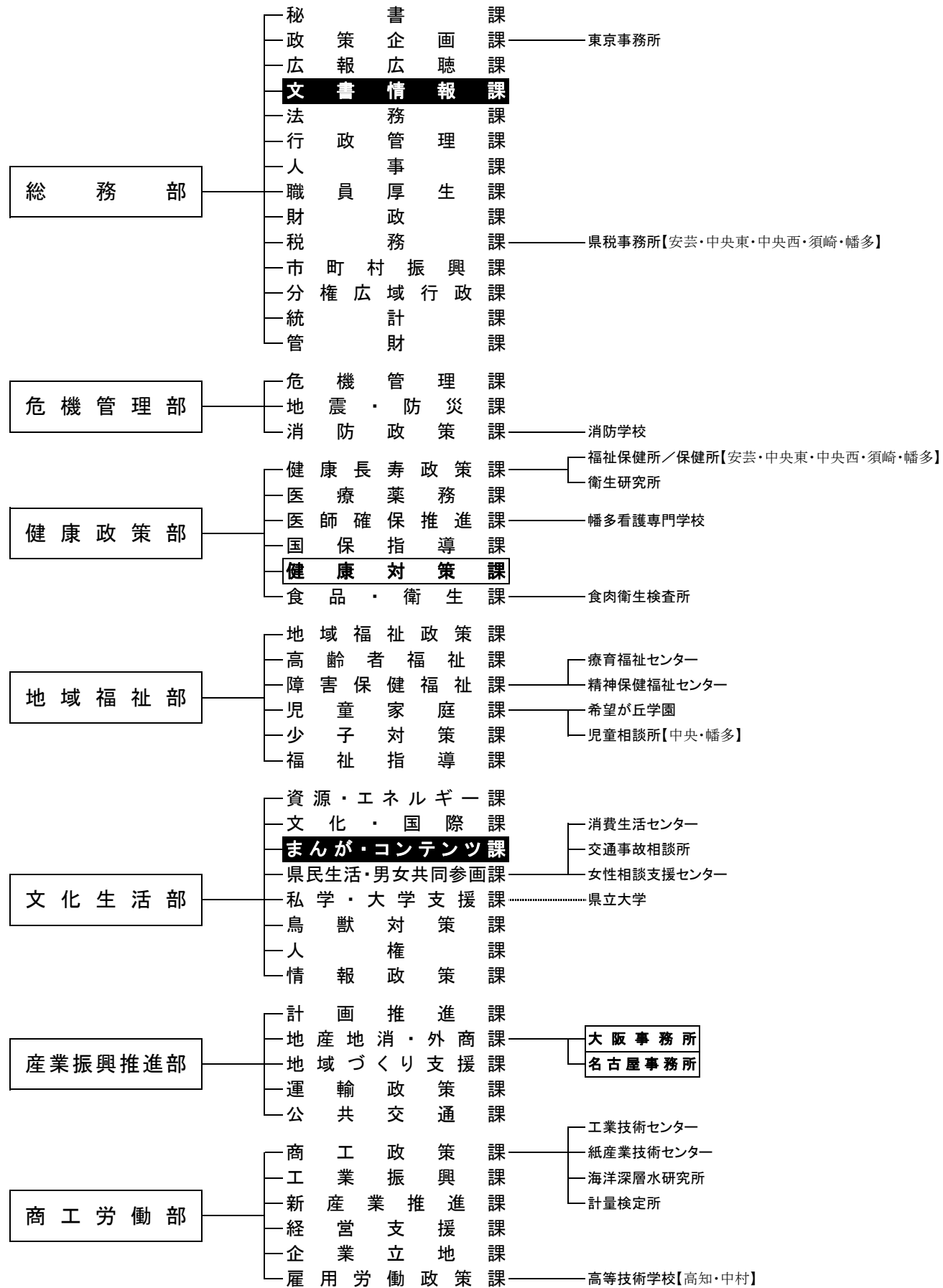
- 迅速・機動的に政策広報や広聴活動を行うとともに、情報公開の推進や歴史的公文書の整備に機動的に取り組めるよう、広報広聴課を「広報広聴課」と「文書情報課」に再編
- 一定基準以上の税外債権の直接回収や所管部局に対する回収の支援・指導を行うことにより、未収金の徴収対策を強化するため、「税務課」の体制を強化

所属数・職員数の状況(知事部局)

		《21年度》	→	《22年度》
所属数	本庁課数	89課		88課
	出先機関数	64機関		63機関

職員数(平成22年4月1日) 知事部局3,400人体制をほぼ達成

平成22年度知事部局組織機構一覽



知事部局の組織数

部局数	13
本庁課数	88
出先機関数	63

注) 出先機関数は支所等を除く。